
エンゲージ

つちふる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エンゲージ

【コード】

N8039N

【作者名】

つちふる

【あらすじ】

五分で読める短編作です

彼女が婚姻届をテーブルの上に置いた。

僕が首を傾げると、彼女は「ここに名前を書いて、ハンコを押して」と言う。

「今さら必要ないだろ。もう夫婦みたいなものだし」

僕は笑いながら紙切れをはじいた。紙はするりとテーブルから滑り落ちる。

「必要なことなの。だからサインして」

彼女は婚姻届を拾い上げると、真剣な顔で僕を見た。気味が悪い。「社会から夫婦って認められないと、僕の気持ち信じられないのか？」

少し不機嫌そうに声を低めてみせると、彼女はおびえたように「ごめんなさい」と謝った。だけど、婚姻届は手放さない。

「…わかったよ。サインすればいいんだろ」

僕は彼女から婚姻届をひったくると、床に転がっていたボールペンで自分の名前を書いた。

「ほら」

「ハンコも」

「どこに置いたのか憶えてないよ」

「ここにあるから」

そう言っつて、彼女は僕のハンコを取り出して見せる。

僕はため息をついてハンコを押した。

「これでいいだろ」

「ええ。ありがとう」

彼女は嬉しそうに頷いて、僕から婚姻届を取り上げた。

「嬉しい。これで私たち夫婦になれたのね」

「もともと夫婦みたいなもんだつたろ」

「嬉しい……本当に嬉しい」

彼女は幸せで一杯というような表情で婚姻届に頬ずりをする。キスもした。何度も。何度も。紙がふやけるぐらいに。

「ねえ、お風呂に入らない？」

「なんだよ急に」

「いいでしょう？ たまには一緒に。ね？」

「いや、まあ……」

「じゃあ入りましょ。何よ、恥ずかしがることないじゃない」

「別に恥ずかしがってなんかないさ」

「お湯は沸かしてあるの。ほら、ね」

「ちよつと待てよ」

彼女はこつちを振り返りもせずバスルームへ向かう。手に婚姻届を持ちながら。

仕方なく僕も後を追う。

バスルームへ入ると、彼女は全ての服を脱ぎ捨て、湯船につかるうとしているところだった。

「おい、何をやってるんだ。婚姻届は置いてこいよ。水で破れちまうぞ」

僕があきれて言うと、彼女は驚いたようにこちらを振り返り、大きく目を見開いた。

婚姻届を抱きしめながら。

「おい」

僕が次に何かを言う前に。

「助けて！」

彼女は悲鳴を上げた。

「あなた、あなた助けて！ 変質者よ！」

「おい、何を言ってるんだ」

「いや！ こないで！ あなた、あなた、助けてよ！ ねえ！」

彼女は悲鳴をあげ続ける。僕が近寄ると、さらに高く声をあげた。何度も何度も 「助けて」 と叫ぶ。

婚姻届にすぎりながら。 何度も。
何度も。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8039n/>

エンゲージ

2010年10月10日17時25分発行